

学校支援活動：駒越小：クラブ活動「科学クラブ（第1回/全7回）」

2024-09-13 学校支援 Gr

1. 日時：2024-09-13（金） 14:30~15:15

2. 学校：駒越小 「科学クラブ（第1回/全7回）」 渡邊先生

4年~6年 4年男子 x2名、6年女子 x2名 計4名

テーマ：浮沈子

3. 活動状況

浮沈子を使って①アルキメデスの原理と②パスカルの原理を実験を通じて学んだ。

① アルキメデスの原理：

1. 理科クラブで用意した真水と塩水それぞれ450mlを用い、真水では沈む浮沈子が塩水では浮くことを児童が実験で確かめた。各人複数回実験したが、半信半疑の顔。
2. 水450g、塩15gをそれぞれ児童に計測してもらい、それで塩水を作り1.の実験をした。真水と塩水とで違いが生じることは何となく理解したようだ。



塩を溶かして塩水溶液を攪拌中



真水と塩水とで浮沈子の浮き方の違いを実験した

② パスカルの原理：

浮沈子をペットボトルに入れ、外側から両手を使って押さえつけると、不沈子が沈むことを実験で確かめた。これにより力がペットボトルの中に伝わり、浮沈子内の空気が微減することで浮力が減じて沈むことを確かめた。



浮沈子に入れる水の微調整で浮き沈みに差が出る。この点をクラブ員が指導した。

【補足】

※本年度は4~6年の児童が30人減、クラブは2件増により、科学クラブの参加者が減った。各クラブ活動は児童が提案したすべてを実施しているとのこと。

※児童は4年/6年と異なる学年で着席し、異学年交流ができるようにした（渡邊先生了解）。

4. 理科クラブ支援者：4名